

2024 Sat 8.31 15:20~
16:20

名古屋国際会議場
第5会場(会議室234)

〒456-0036 名古屋市熱田区熱田西町1番1号
TEL: 052-683-7711



座長 小林 直隆 先生 (咲くらクリニック 院長)

スイーツセミナー 3

人気度の高い 美容皮膚科施術とは？

～次世代型IPL・RFの有用性～



演者 岩間 美幸 先生 (ピアンカクリニック)

次世代型IPL(ルメッカ)を用いた
シミ・くすみ・赤ら顔治療



演者 先山 史 先生 (ふみビューティークリニック梅田 院長)

高電圧パルスRFを用いた
下顔面のタイトニング治療について

次世代型 IPL (ルメッカ) を用いたシミ・くすみ・赤ら顔治療

演者 岩間 美幸 先生 (ビアンカクリニック)

1992年にGoldmanらがインテンス・パルス・ライト (以下IPL) というブロードバンド光による治療法のコンセプトを発案し、その後臨床応用が進められて以来、四半世紀が経過している。今日においてもIPLの顔全体への照射は、色素斑やくすみ、ならびに赤ら顔にダウンタイムが少なく効果を発揮でき患者満足度の高い施術の一つである。当院では次世代型IPL (ルメッカ、インモード社、イスラエル) を用いた全顔照射を積極的に行っている。ルメッカは主に波長580~1,200nmのアプリケーターを使用し、月1回の間隔で概ね3-5回程度の施術を推奨している。また他社IPLよりも可視光域 (500~600nm) のスペクトルが強く、また実際のフルエンス設定においてパルス幅3~8msecのシングルパルスとなっておりピークパワーも高いため、特に色素斑への効果を顕著に確認できる。疼痛コントロール面においても、皮膚冷却温度の調整も可能という特徴もある。当院でのルメッカを用いた治療について適応・照射方法・併用の工夫など症例を供覧しながら述べたい。



高電圧パルスRFを用いた下顔面のタイトニング治療について

演者 先山 史 先生 (ふみビューティークリニック梅田 院長)

当院では、ヒアルロン酸注入やスレッドリフト、様々なデバイスを用いてお顔のたるみや輪郭を改善させ、よりナチュラルで美しい仕上がりを目指す、低侵襲な若返り治療に力を入れて日々診療を行っている。インモードリフトは、吸引+高周波+高電圧パルスによって脂肪を減少させる『MiniFX』と、高周波によって皮膚の引き締めを行う『Forma』を組み合わせた、これまでにないタイトニング機器である。あご裏やフェイスライン、口横など、下顔面のタイトニングを得意としたデバイスで、お顔の重心が下がりやすいアジア人の輪郭治療に大変適していると考えている。低侵襲かつ効果的な下顔面のタイトニング治療であり良い結果を得ている。ヒアルロン酸注入やボツリヌス製剤、スレッドリフトとのコンビネーション症例も合わせて報告する。



共催：第42回日本美容皮膚科学会総会・学術大会 / インモード・ジャパン株式会社



日本美容皮膚科学会
Japanese Society of Aesthetic Dermatology



INMODE